

個別施設計画
(その他県民利用施設)
〈消防学校・防災安全センター〉

平成31年3月
令和5年3月改正
山梨県

目次

1	目的・位置付け	1
2	施設の状況・課題	1
3	今後の施設管理の方針	4
4	長寿命化に関する方針	4
5	長寿命化実施計画	6
6	長寿命化対策の実施効果	6
<別紙>	長寿命化実施計画（詳細）	7
<別表>	施設の建築物等所有状況一覧	8

1 目的・位置付け

(1) 目的

県が管理・所有する公共施設について、将来的な活用を見据えた総合的かつ計画的な管理を推進するため「個別施設計画」を策定し、利用者の安全の確保とともに、長寿命化型の管理を行うことにより、ライフサイクルコストの削減、財政負担の平準化、及び施設の長寿命化を通じた県民サービスの向上を図ることを目的とする。

(2) 位置付け

本計画は、「山梨県公共施設等総合管理計画」に基づく施設類型ごとの個別施設計画(国の「インフラ長寿命化基本計画」に規定する「個別施設ごとの長寿命化計画」)である。

(3) 対象施設

大分類	中分類	小分類	施設番号、施設名称		所管部局
I 県民利用施設	7 その他県民利用施設	① その他県民利用施設	191	消防学校	防災局
			192	防災安全センター	

※分類は「山梨県公共施設等総合管理計画」における施設類型

(4) 計画期間

平成30年度から令和9年度までの10年間とする。

ただし、計画期間の中間年を目途に、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととする。

2 施設の状況・課題

(1) 施設における建築物の所有状況

No.	施設名	教育管理棟	宿泊棟	訓練施設	車庫棟	自転車置場等	合計
191	消防学校	1	1	4	1	3	10

No.	施設名	本館	備蓄倉庫	車庫			合計
192	防災安全センター	1	1	2			4

※詳細データは<別表>のとおり

(2) 施設の状態（老朽化状況）

1) 消防学校

消防学校は平成 22 年 3 月に策定した山梨県消防学校整備方針に基づき、平成 27 年 3 月に施設の建替えが完了しているため、耐震性を有し、劣化等による修繕・改修の必要はない。また、建築基準法及び消防法等に基づく法定点検や、エレベーターの保守点検等を実施しており、基本的な安全性は確保されている。

2) 防災安全センター

防災安全センターは昭和 57 年 4 月設置の建物であり、経年劣化は見られるものの、必要に応じて修繕を行っているほか、建築基準法上の耐震性を有していることから、必要最低限の安全性は確保されている。

また、建築基準法及び消防法等に基づく法定点検を実施するとともに、建築部位・設備の劣化状況に応じ、これまでトイレ、空調設備、倉庫シャッター等の改修を実施してきている。しかしながら、設置から約 40 年が経過しており、更新を検討する時期に来ているものも見受けられる。

(3) 施設の運営・利用状況

1) 消防学校

消防学校は、消防組織法第 51 条に基づき昭和 40 年に設置され、消防職員教育（初任総合教育・専科教育・幹部教育・特別教育）、消防団員教育（基礎教育・専科教育・幹部教育・特別教育）を行い、消防防災の本質と責務、基本理念を認識させるとともに、高度な専門的知識・技術を習得させているほか、自主防災組織等の防災教育への協力・支援を通して地域防災力の向上を図っている。

また、平成 27 年の施設建替えに伴い、各種訓練施設が充実したことにより、全国レベルの教育訓練が可能となり、消防本部・消防団の要望を集約し、年 700 名以上（令和 3 年度研修修了者）に効果的な教育訓練を実施している。

2) 防災安全センター

防災安全センターは、県民の防災意識の高揚と、地震や風水害、火災などによる生命、財産に及ぼす被害を最小限に食い止めるための知識と技術を習得する場とすること、及び災害が発生した場合の応急資機材、生活必需品の備蓄と、救援物資の中継拠点としての役割を果たす施設とすることを目的として、昭和 57 年度に設置され、県民等に対する防災知識の普及、教育及び訓練を行う県内唯一の施設として大きな役割を担っている。

施設では、防災の専門員を配置し、地震体験や煙体験などの体験事業、消火器訓練や煙からの避難訓練などの訓練事業を実施するとともに、防災指導車（起震車）を活

用した地震体験を行う出張講座や移動防災教育講座など各種学習相談事業を実施し、約 2,000 人の来館及び約 12,000 人の出張講座等を合わせて、団体や個人などに年間 14,000 人（令和 3 年度実績）を超える人に利用・活用されており、多くの県民に質の高い防災教育や訓練の機会を提供している。

なお、平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、地震等に対する家庭や地域での備え等の教育や、災害時における消火・救出・救命等の訓練、地震体験装置等による体験、個人や団体からの防災対策に関する相談に対する助言等、利用者が体験や訓練・実習等を通じて防災対策の知識をわかりやすく習得できるよう、より実践的な防災教育・訓練事業を実施している。

また、子供から大人、自治会、企業、福祉関係団体や消防関係団体など、多くの県民に広く利用されており、利用者が自宅や地域においても生かせる防災教育・訓練を実施している。

（４）人口減少・社会環境変化に伴う利用者需要の動向

1) 消防学校

消防学校は、消防職員及び消防団員を育成するための教育訓練を実施していることから、人口減少等を起因とする消防職員及び消防団員の減少がある場合、その影響を受ける可能性はある。

一方で、複雑・多様化する災害等に的確に対応できる消防職員及び消防団員を育成するため、消防学校施設と教育訓練事業の必要性は、ますます高くなっている状況であり、今後も同程度の需要が見込まれる。

2) 防災安全センター

防災安全センターは個人から自治会、幼稚園、保育園、小中学校などの団体まで、幅広い利用者がある。特に、団体の利用がその大半を占めるため、人口減少に伴い、各団体の構成員数が減少した場合、その影響を受ける可能性はある。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、それまでと比べ、利用者が大きく落ち込んだものの、近年の大規模災害を通じて自助、共助の重要性が再認識されるとともに、住民の防災意識の向上に伴い、防災安全センターの施設を活用した防災教育や訓練の必要性は、ますます高くなっている状況である。

（５）今後の課題

1) 消防学校

消防に関する高度な専門的知識・技術の習得及び地域防災力の向上のために必要な施設であることから、引き続き施設を維持していく必要がある。

また、複雑・多様化する災害等に的確に対応できる消防職員及び消防団員を育成す

るため、消防学校施設と教育訓練事業の必要性は、ますます高まっている状況である。よって、本施設を使用した教育訓練事業の一層の推進及び消防機関等の施設利用促進を図ることにより、施設稼働度をさらに高めていく必要がある。

2) 防災安全センター

防災に関する知識の普及啓発のために必要な施設であることから、引き続き施設を維持していく必要がある。

また、近年、自助、共助の重要性が再認識されており、防災安全センターの施設を活用した県民に向けた防災に関する教育や訓練の必要性は、ますます高まっている状況である。よって、本施設を使用した防災に関する普及啓発事業の一層の推進及び利用促進を図ることにより、施設利用度をさらに高めていく必要がある。

3 今後の施設管理の方針

今後も継続して使用していく必要がある施設については、長寿命化事業（施設の使用年数を法定耐用年数を超えて延伸させる事業）を実施する。

また、施設の改修費の総額が 10 億円以上となる場合は、「山梨県 P P P / P F I 導入指針」に基づき、P F I 等の導入を検討する。

各施設の管理の方針は次のとおり。

(1) 消防学校

消防学校は消防組織法により設置を義務づけられているものであり、複雑・多様化する災害に対応する人材育成や、消防機関等の災害対応能力向上のためにも必要不可欠であることから、長寿命化事業を実施する。

(2) 防災安全センター

防災に関する知識の普及啓発のため必要な施設であることから、長寿命化事業を実施する。

4 長寿命化に関する方針

長寿命化対象施設のうち次表の建築物について長寿命化事業を実施する。

No.	施設名	長寿命化対象建築物	
191	消防学校	191-11	教育管理棟
		191-12	宿泊棟
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター

長寿命化事業は、「県公共施設マネジメント実施方針」に基づき、目標使用年数 80 年に向け、計画保全部位・設備について計画的な改修を実施する。

なお、事業の実施に当たっては、「県建築物点検マニュアル」に基づき定期点検を実施し、

施設の安全性や劣化度等を十分に考慮し改修箇所の優先順位づけを行う。

また、点検結果及び改修履歴は、公共施設・財産マネジメントシステムに記録し、計画的及び効率的な保全業務に活用する。

<参考> 保安全管理の考え方（「県公共施設マネジメント実施方針」）

○管理分類ごとの保全方針

分類		考え方	保全方針
計画保全	予防保全	劣化により建築物の構造躯体の寿命に直接影響を与える部位、故障等した場合に施設利用者の安全性や施設の機能維持に重大な影響を与える設備	予防保全の観点から不具合が生じる前に保全を実施する
	監視保全	劣化・故障等により建築物の寿命、利用者の安全性及び施設の機能維持に影響するが、事前の兆候を把握することにより対処可能な部位・設備	診断や点検結果を注視し、機能停止等の発生前に劣化や不具合の兆候に応じて対応する
事後保全		不具合が生じてから対応しても、建築物の寿命、利用者の安全性及び施設の機能維持への影響が少ない部位・設備	劣化の進行や機能停止の発生状況に応じて適宜対処する

○建築部位・設備ごとの管理分類

建築部位・設備			計画保全		事後保全
			予防保全	監視保全	
建築	屋根		○		
	外壁	外壁	○		
		外部天井		○	
	建具	外部建具、自動扉		○	
		その他建具			○
内部	内部仕上等			○	
電気設備	受変電	高圧	○		
	発電・静止形電源	非常用発電、交流無停電電源	○		
		太陽光発電			○
	電力	配管配線等、電線類、制御盤、分電盤、OA盤、蛍光灯他			○
	中央監視	中央監視	○		
通信・情報	LAN、電話、表示、映像、防犯等				○
	自動火災報知			○	
機械設備	空調設備	熱源	○		
		空気調和機、全熱交換器、空気清浄装置、ポンプ、タンク、ダクト、配管		○	
	換気設備、排煙設備、自動制御設備、給排水設備、消火設備、昇降機			○	
	衛生設備				○

5 長寿命化実施計画

長寿命化対象建築物ごとの実施計画は次のとおり（詳細は＜別紙＞参照）。

【単位：千円】

施設番号	施設名称	建物コード	建物名称	建築年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014									
		191-12	宿泊棟	2014									
191 集計													
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	3,705	36,370			547	5,737			
192 集計					3,705	36,370			547	5,737			
総計					3,705	36,370			547	5,737			

※ 実施計画の改修費や改修年度は、保全マネジメントシステム（BIMMS）を活用して算出したものであり、定期点検結果や県施設全体の優先順位付けの検討結果により変更となる可能性がある。

6 長寿命化対策の実施効果

長寿命化対策の今後 50 年間の実施効果は次表のとおり。

【単位：百万円】

長寿命化型	事後保全型	長寿命化対策の実施効果
3,531	4,879	△1,348

※長寿命化型：BIMMS による全建築物の費用推計（50 年間）

※事後保全型：総務省費用推計ソフトによる全建築物の費用推計（50 年間）

長寿命化実施計画（詳細）

施設番号	施設名称	建物コード	建物名称	建築年	区分	種別	分類	目標使用年数	更新履歴	次回更新年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計(千円)	
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 構造	構造躯体	予防保全	80		2094											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 屋根	シート系防水	予防保全	20		2034											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 屋根	屋根長尺金属板	予防保全	30		2044											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 外部	外壁仕上塗材	予防保全	15		2029											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 外部	外壁金属板その他	予防保全	40		2054											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 建具	外部建具	監視保全	40		2054											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	建築 建具	自動扉	監視保全	80		2094											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	電気 受変電	高圧	予防保全	30		2044											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	電気 通信・情報(防災)	自動火災報知	監視保全	20		2034											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	機械 空調設備	空気調和器等	監視保全	20		2034											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	機械 換気設備	換気機器;送風機	監視保全	30		2044											0
191	消防学校	191-11	教育管理棟	2014	機械 給排水設備	給排水(ポンプ、タンク、配管等)	監視保全	30		2044											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	建築 構造	構造躯体	予防保全	80		2094											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	建築 屋根	シート系防水	予防保全	20		2034											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	建築 外部	外壁仕上塗材	予防保全	15		2029											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	建築 外部	外壁金属板その他	予防保全	40		2054											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	建築 建具	外部建具	監視保全	40		2054											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	機械 空調設備	空気調和機	監視保全	20		2034											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	機械 換気設備	換気機器;送風機	監視保全	30		2044											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	機械 給排水設備	給排水衛生設備	監視保全	30		2044											0
191	消防学校	191-12	宿泊棟	2014	機械 消火設備	消火設備一式	監視保全	30		2044											0
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	建築 構造	構造躯体	予防保全	80		2061											0
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	建築 屋根	シート系防水	予防保全	20	H16	2024					547	5,737					6,284
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	建築 外部	外壁仕上塗材	予防保全	15		2029											0
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	建築 建具	外部建具	監視保全	40		2029											0
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	電気 発電・静止形電源	交流無停電電源	予防保全	20	R3	2041											0
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	電気 通信・情報(防災)	自動火災報知	監視保全	20	H22	2030											0
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	機械 空調設備	空気調和器等	監視保全	20		2020	3,705	36,370									40,075
192	防災安全センター	192-01	山梨県防災安全センター	1981	機械 給排水設備	給排水(ポンプ、タンク、配管等)	監視保全	30		2029											0
			長寿命化対象0棟			長寿命化対象	予防保全				0	0	0	0	547	5,737	0	0	0	0	6,284
							監視保全				3,705	36,370	0	0	0	0	0	0	0	0	40,075
						長寿命化対象施設計					3,705	36,370	0	0	547	5,737	0	0	0	0	46,359

※ 実施計画の改修費や改修年度は、BIMMS を活用して算出したものであり、定期点検結果や県施設全体の優先順位付けの検討結果により変更となる可能性がある。

施設の建築物等所有状況一覧 (R4.3.31 現在)

長寿 対象	法定 点検	施設 番号	施設 名称	所 在 地	建 物 番 号	建 物 名 称	建 物 種 目	建 築 面 積 (㎡)	延 床 面 積 (㎡)	建 物 構 造	(地 階 上)	(地 階 下)	新 築 日 付	築 年 数	耐 震 診 断 状 況	耐 震 補 強 状 況	所 管 課
○	○	191	消防学校	中央市今福1029-1	11	教育管理棟	事務所建	1,234.64	2,223.02	RC	2	0	2014/11/21	7	済	済	防災局消防保安課
○	○	191	消防学校	中央市今福1029-1	12	宿泊棟	事務所建	979.79	2,105.63	RC	3	0	2014/11/21	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	13	屋内訓練場	事務所建	1,973.26	2,260.96	RC	2	0	2014/11/21	7	済	済	防災局消防保安課
	○	191	消防学校	中央市今福1029-1	14	車庫棟	倉庫建	398.67	398.67	鉄骨造	1	0	2015/1/30	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	15	総合訓練棟	事務所建	432.79	1,464.06	SRC	5	0	2015/2/27	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	16	救助訓練棟	事務所建	358.79	246.07	鉄骨造	3	0	2015/3/13	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	17	水難救助訓練施設	事務所建	154.53	298.53	RC	2	0	2015/3/13	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	18	自転車置場	雑屋建	25.33	25.33	鉄骨造	1	0	2015/3/13	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	19	ごみ置場	雑屋建	4.61	4.61	鉄骨造	1	0	2015/3/13	7	済	済	防災局消防保安課
		191	消防学校	中央市今福1029-1	20	手洗い場	雑屋建	7.16	7.16	鉄骨造	1	0	2016/3/1	6	済	済	防災局消防保安課
○	○	192	防災安全センター	中央市今福991	1	山梨県防災安全センター	事務所建	1,030.76	1,030.76	RC	1	0	1982/3/11	40	不要	不要	防災局防災危機管理課
		192	防災安全センター	中央市今福991	2	防災備蓄倉庫	倉庫建	12.83	12.83	鉄骨造	1	0	2011/3/28	11	不要	不要	防災局防災危機管理課
		192	防災安全センター	中央市今福991	3	防災安全センター車庫	雑屋建	104.51	104.51	SRC	1	0	1975/7/24	46	済	未	防災局防災危機管理課
		192	防災安全センター	中央市今福991	10	防災安全センター車庫	雑屋建	71.19	71.19	鉄骨造	1	0	1999/3/12	23	済	未	防災局防災危機管理課